

調査の実施方法

1 目的

県内における家畜飼養や生産に関する実態を把握し、農家指導及び畜産振興対策実施のための基礎資料として活用する。

2 調査対象

県内の家畜飼養者のうち、家畜伝染病予防法（昭和 26 年法律第 166 号）第 12 条の 4 第 1 項に定める定期報告（以下「定期報告」という。）の対象となっている者。

ただし、愛玩・教育目的で飼養している者を除く。

3 調査対象期間

飼養頭羽数については令和 8 年 2 月 1 日現在、出荷頭羽数については令和 7 年 1 月 1 日～12 月 31 日の合計数とした。

4 調査方法及び内容

(1) 調査方法

家畜保健衛生所からの調査票の配布・回収、又は聞き取りによる。

(2) 調査内容

定期報告における報告事項に加え、下記の項目について調査した。

- ・肉用牛飼養者：年間子牛生産頭数、肥育牛年間出荷頭数
- ・豚飼養者：肥育豚年間出荷頭数
- ・肉用鶏飼養者：肉用鶏年間出荷羽数

5 集計方法

複数の農場で家畜を飼養している経営については、1 農場を 1 戸として集計した。

6 数値の公表

個人情報保護の観点から、集計区分ごとの飼養戸数が 2 戸以下の市町村の飼養頭羽数を非公表とした。